**令和４年度　京都工芸繊維大学**

**京都産学共創フェローシッププログラム【補充採用】　申請書**

（異分野融合人材育成フェローシッププログラム）

*※本申請書は令和4年度日本学術振興会特別研究員（DC）の申請書様式を参考にしています。*

*本記載も含め、斜体フォントの設問の説明個所は提出時に削除してください。*

１．申請者情報

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| フリガナ氏名 |  | 年齢(令和4年4月1日現在) | 　歳 |
| 連絡先 | 電話番号：E-mailアドレス： |
| 学歴 | １．*出身大学、学部・課程（学科等）、卒業年月を記入*２．*出身大学院（修士・博士前期課程）、専攻、修了年月(見込含む)を記入*３．*取得学位を記入* |
| 専攻 | *入学後の所属専攻を記入* |
| 主任指導教員 | *入学後の主任指導教員の氏名・所属・職位を記入* |
| 研究テーマ名 | *研究テーマ名を記載* |
| 参加希望研究力向上プログラム（PBL） | *参加希望の研究力向上プログラムのチェックボックスをクリックしてください。（複数選択可）*[ ] Design-centric Engineering Program（dCEP）[ ] FMAプログラム*FMAプログラムを選択した人のうち、産学共同研究の実施が決定（内定）している場合は、下記も記入ください。*①相手先：②研究テーマ：③実施状況（契約における主任指導教員の役割、実施期間）： |
| 申請資格確認 | *チェックボックスをクリックし、申請資格を有していることを示してください。*[ ] 日本学術振興会の特別研究員に採択されていない[ ] 文部科学省国費外国人留学生制度による支援、及び本国からの奨学金等の支援を受けていない（留学生のみ）[ ] 生活費相当額として十分な水準（目安として240万円／年）の給与・役員報酬等の安定的な収入を得ていない（所属企業等から十分な生活費相当額を受給制度があるにもかかわらず利用していない場合は、十分な水準の安定的な収入を得ているものとみなします。）[ ] 休学中又は休学予定でない |
| 令和4年度日本学術振興会特別研究員への申請実績 | *チェックボックスをクリックしてください。*[ ] 申請した[ ] 申請していない申請していない場合、その理由： |
| 研究テーマ概要（400文字以内） |  |
| メールアドレス等の提供について | *事業実施状況等に関し、JSTから直接フォローアップを行うため、採用者の氏名、メールアドレス等を提供することにご協力ください。了承いただける場合、チェックボックスをクリックしてください。*[ ] 氏名、所属、学年、連絡先メールアドレス、研究テーマについて、JSTに情報提供することについて、了承します。（JST登録用のメールアドレスを上記とは別に指定する場合、下記に記載ください。）〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕 |